

## 地域活動の情報発信に関するアンケート結果

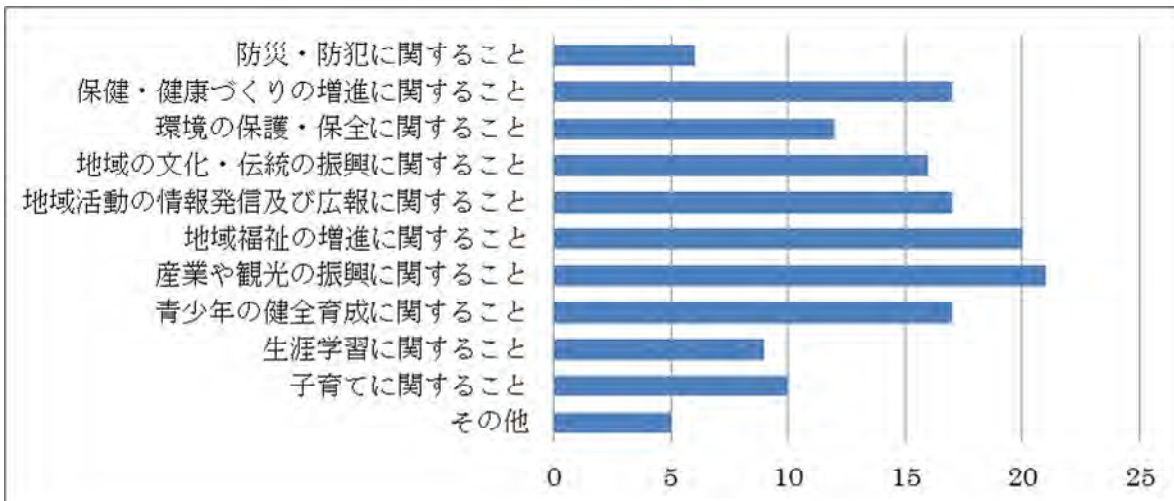
### 1 調査概要

- ( 1 ) 調査対象 緑区内の地域で活動する各種団体
- ( 2 ) 期間 平成 2 9 年 9 月 4 日から 1 0 月 3 1 日まで
- ( 3 ) 配布数 1 2 0 枚 ( 回収数 : 5 3 枚 ) ( 回収率 4 4 . 2 % )
- ( 4 ) 配布方法 各地区まちづくり会議を通して配布、  
また、まちづくりセンターに依頼し、関係団体に配布。

### 2 調査結果

#### ( 1 ) Q1 . 貴団体はどのような地域活動を行っていますか。( 複数可 )

項目	数値	割合 ( % )
防災・防犯に関すること	6	4
保健・健康づくりの増進に関すること	17	11.3
環境の保護・保全に関すること	12	8
地域の文化・伝統の振興に関すること	16	10.7
地域活動の情報発信及び広報に関すること	17	11.3
地域福祉の増進に関すること	20	13.3
産業や観光の振興に関すること	21	14
青少年の健全育成に関すること	17	11.3
生涯学習に関すること	9	6
子育てに関すること	10	6.67
その他	5	3.33

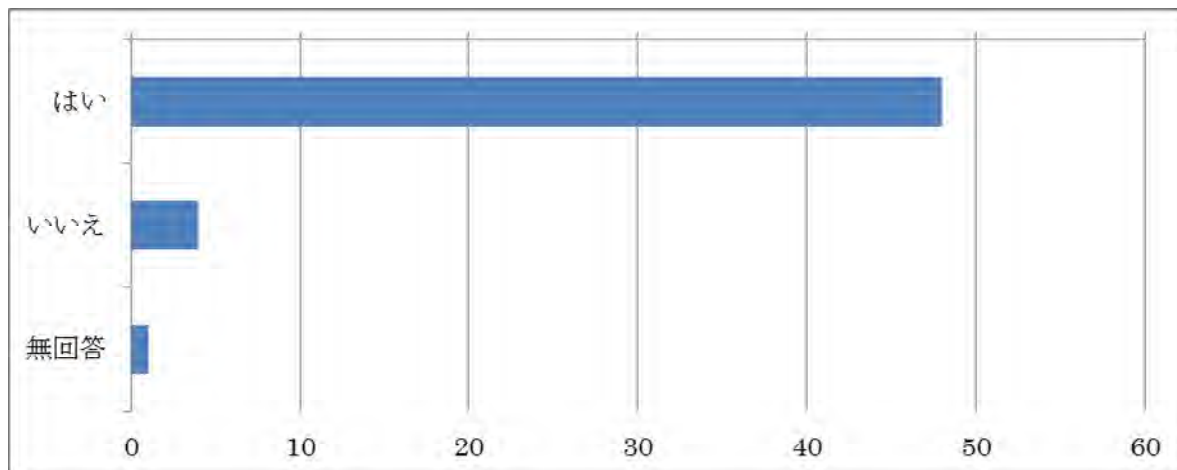


(その他)

- ・生涯スポーツ振興
- ・温暖化による地域への影響を調査
- ・歴史の保存事業
- ・子ども達の心と体を解放させ表現させる居場所づくり
- ・地域清掃及び見守り(友愛活動)～市に報告

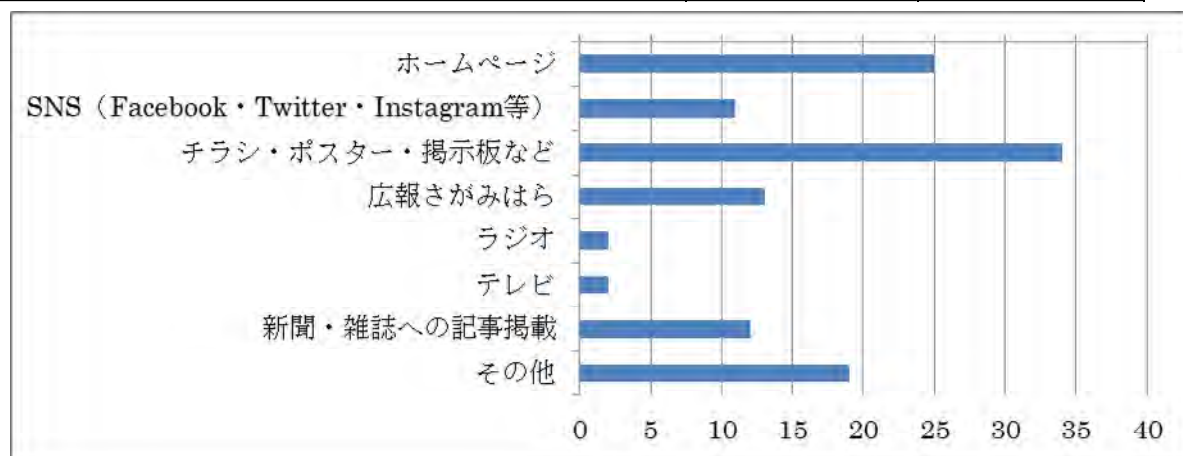
**(2) Q2 . 活動情報を発信していますか。**

項目	数値	割合(%)
はい	48	90.6
いいえ	4	7.5
無回答	1	1.9



**( 3 ) Q 3 . どのような広報媒体を活用して情報発信していますか。(複数可)**

項目	数値	割合(%)
ホームページ	25	21.2
SNS ( Facebook ・ Twitter ・ Instagram 等 )	11	9.3
チラシ ・ ポスター ・ 掲示板など	34	28.8
広報さがみはら	13	11.0
ラジオ	2	1.7
テレビ	2	1.7
新聞 ・ 雑誌への記事掲載	12	10.2
その他	20	16.1



**( その他 )**

- ・ 地域情報誌
- ・ 情報誌の発行
- ・ 定例会の開催
- ・ 案内葉書の発送
- ・ 公民館報
- ・ 地区社協通信
- ・ 新聞折込、ダイレクトメール
- ・ 口コミ

**( 4 ) Q 4 . 広報活動を行うにあたり、何か工夫していることはありますか。**

**【 広報紙 ・ チラシ ・ 新聞 】**

- ・ 広報紙の発行は自治会に協力してもらい、(一部地域を除き)各戸配布している。
- ・ タブロイド型の新聞の発行、デザインの工夫をして、みたい物の制作。
- ・ 地域情報誌の作成にあたっては、掲載記事の順番や配置等に配慮している。
- ・ 多くの方に来場していただくため、新聞や広報さがみはらなど広域的な広報を出来

るようにしている。

- ・さくらまつり、イルミネーションなど各新聞社に記事を提供している。
- ・情報誌の発行。活動の様子が目で見て分かり易いように、写真を多く載せるようにしている。
- ・活動の写真を載せて様子が分かりやすいようにしている。地図を載せて、参加しやすいようにしている。
- ・写真も作ってそれを使い分かり易く目印になる説明文を添えて場所をアピールする。
- ・チラシ、広報誌にて地域にとって必要と思われる情報、事業の予定、報告を伝えている。自治会掲示板を活用している。
- ・広報誌を地域の方に関心を持って読んでいただけるよう、地域で活動する団体やサークル等の記事に写真を入れて掲載している。イベントは、回覧、新聞折込、ポスター掲示など方法を変え、数回周知している。
- ・活動内容を写真等にのせ、分かり易く独自の広報も発行しています。
- ・写真や参加者の声などを多く載せるようにした。
- ・地区情報誌で地域全体に周知すると同時に7地域を巡って自治会長等の協力を得て開催しているので、その地域で参加した方がリピーターとなり他の地域でのイベントにも参加し、少しずつ広まってきている。
- ・出来るだけ多くの人に理解をはかるため、重要な行事等は全戸配布のチラシにしている。いろいろな他団体との連携を大切にしている。
- ・チラシを受け取り易くするため、手提げ袋に入れて配布している。
- ・目にとまるような情報やレイアウト等を工夫している。
- ・見やすく直感的に内容が伝わる様工夫している。
- ・来場者全員に翌年の案内を葉書で知らせる。
- ・独自の広報紙は新聞折込であるが、新聞を取る人が減っている。自分がある地域は、自治会加入率が高いため、地域情報紙に掲載した方が情報を見る確率が高い。
- ・現在はチラシ、ポスター、広報による活動がほとんど。あとは口コミ、リピーター。

**広報物を用いて見やすさを重視して写真を使用し、地域に密着して発信したり、広域的に発信するなど団体の実情に応じた情報発信を行っている。**

#### 【ホームページ、SNS】

- ・ホームページに野菜や山菜などの写真を掲載するようにしている。
- ・地域活動のブログを作成している。様々な広報媒体を利用している。
- ・ホームページの定期更新（年数回）
- ・SNSに写真をアップして1週間に1回は更新するようにしている。
- ・参加者の感想をHPに載せるようにしている。英文HPを立ち上げる予定である。
- ・活動の様子、作品の紹介をホームページに掲載。

・これまでの活動、現在行っている活動、大人になった子ども達、OG,OBの現在の活動(それぞれのSNS)など、細かな幅広い情報がホームページで見られるようになっていいる。

**写真などを掲載し、多くの人に見ていただけるようホームページ、SNSで発信している。**

#### 【地域・口コミ】

- ・地域の自治会活動時に自分達の団体の活動内容を伝える。つまりは地域住民と日頃からよい関係を作ること。我々の団体の価値観と近い趣旨のお店(我々の団体であればオーガニックを扱うお店など)へチラシを置かせて頂く。
- ・定例会での情報交換や地区社会福祉協議会の広報誌に単位倶楽部の活動状況等を紹介するコーナーを設けていただいている。

**地域住民と連携して情報交換や情報発信を行っている。**

#### 【その他】

- ・イベントで活動状況の写真展示の説明ができる担当者を当番制にして対応している。
- ・イベント会場での、のぼり旗の活用。写真を多用し、視覚に訴えるようにしている。
- ・気軽に見に行けるイルミネーションとして情報発信するようにしている。
- ・前回のアンケートの中から紹介したり、見所、ウリ等を紹介したりしている。
- ・市へ実施報告書の提出及び写真等を説明文と一緒に提出。
- ・地域の情報などは常に新しい情報を収集して提供するようにしている。
- ・毎月作業を行い、そのつど写真をとっておき最後にまとめる。この作業を2年間実施した。
- ・イベントが始まる1ヶ月前からこまめに情報を発信するようにしている。
- ・参加者の単独イベントなども発信している。

**こまめな情報の更新を行い、発信している。**

#### (5)Q5 広報媒体を活用したことで、現れた効果がありましたらお答えください。

- ・活動状況の写真を見た人が「知り合いがいる」と説明を求めて来た、
- ・広報紙等を見て申し込む人がいる。
- ・参加者が増加した。活動をより多くの人に知ってもらえた。活動を知った人からいろいろアドバイスを頂けた。
- ・お店に来たお客さんが活動に参加してくれた。SNSを通じて、直接あったときに活動内容について、質問されることがある。SNS やチラシなどでは、詳細に伝えられな

い部分を伝えることで、参加しやすくなる。

- ・フェイスブックページなどを見ている人が増えている。
- ・県の広報誌や市の広報誌に掲載されると集客が多くなる。
- ・来場者の増加や、県がとりあげてくれることにより更に広域の来場者が見込まれる。
- ・広報媒体は仲間内のみ限定している。
- ・他地区の方々からの問い合わせ等があり広範囲に広報が出来ている。
- ・他地域からの事業参加者が少しずつ増えている。
- ・広報媒体よりも口コミや直接お誘いしていることが多い。
- ・現場に足を運んでくれる人が増えた。
- ・ホームページや広報誌の活動により、幅広い周知がされて活動に参加してくれた。
- ・伝えた事業に参加して下くれた人が多数いた。
- ・広報誌を見て、団体の活動についての理解が深まってきていると思う。
- ・事業の周知ができ、参加や協力を繋がった。
- ・自分達の活動が少しでも理解されていると思う。
- ・イベント等の他地区からの問い合わせ参加が増えた。
- ・3年目を迎え、多くの住民に周知され、近隣での開催をきっかけに参加者が増加傾向にある。
- ・開催しているイベントは、HPを見て参加する人が多い。
- ・私どもの活動が地域の人々に関心を持ってもらうようになった。
- ・記事を話題にしてくれる。
- ・多くの方に知られるようになり、活動場所が近所だからと気軽に参加してくれた。
- ・年に1度の公演（演劇を主とした表現発表等）を続けているが、遠くから足を運んでこられる方もあり、その中から活動に参加して下さることもある。
- ・地域が自治会活動には理解をしてくれ、大変協力的に行動してくれる。
- ・地域情報誌を見た方から参加への問い合わせがあった。
- ・会員が増加した。
- ・広報は自治会連合を通してチラシ・ポスター・掲示板等を利用して、地域の人に伝達している。
- ・新聞折り込みをすることでより多くの市民の目に触れる様配慮している。
- ・毎年案内を待っている人がいる。
- ・特に若い世代の方は、FBやホームページを見て、イベントに来てくれている。
- ・広範囲に認知されるようになった。
- ・チラシは県内にまんべんなくまかれていることと主要団体にもダイレクトメールを送付すること等により遠方からの来場が多くなった。

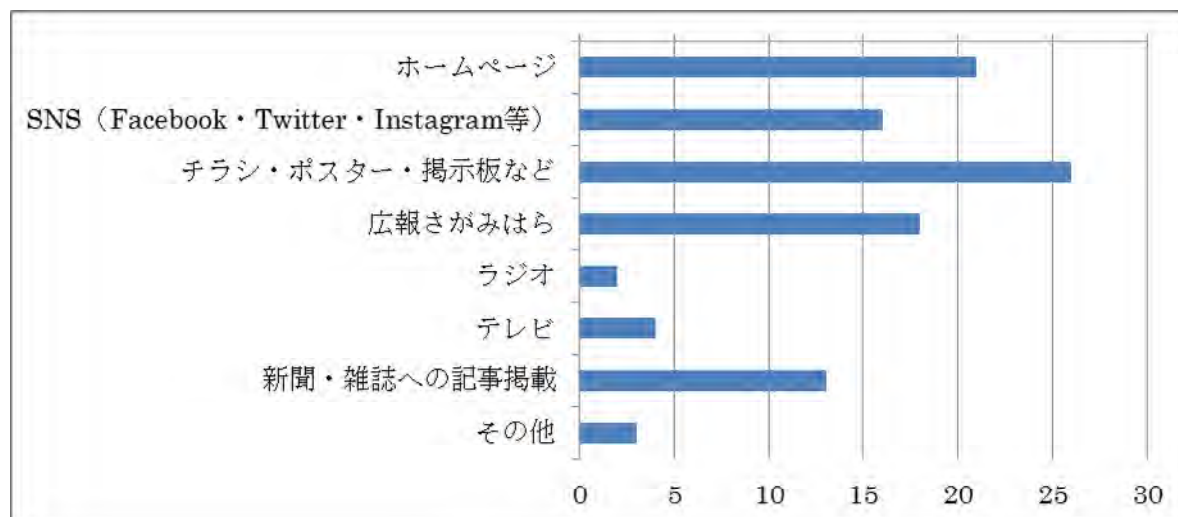
広報活動を行うことによって活動への参加者が増加。他地区からの参加者が増加することも。また、SNSやホームページを通じて来てくれている人もいる。

(6) Q6 . これから取組んでいきたい情報発信方法はありますか。(複数可)

項目	数値	割合(%)
ホームページ	21	20.4
SNS ( Facebook ・ Twitter ・ Instagram 等 )	16	15.5
チラシ ・ ポスター ・ 掲示板など	26	25.2
広報さがみはら	18	17.5
ラジオ	2	1.9
テレビ	4	3.9
新聞 ・ 雑誌への記事掲載	13	12.6
その他	3	2.9

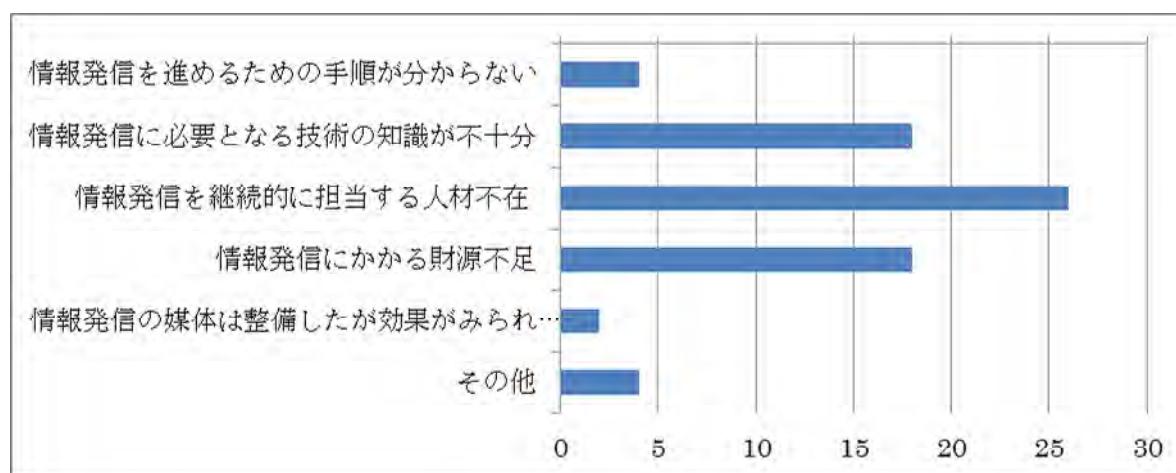
(その他)

- ・ 窓口相談で職員が
- ・ 会報誌を発行できればと思っている。
- ・ 地域情報紙に掲載



**(7) Q7 . 情報発信に取り組むにあたり、課題等がありますか。(複数可)**

項目	数値	割合(%)
情報発信を進めるための手順が分からない	4	5.6
情報発信に必要なとなる技術の知識が不十分	18	25.0
情報発信を継続的に担当する人材不在	26	36.1
情報発信にかかる財源不足	18	25.0
情報発信の媒体は整備したが効果がみられない	2	2.8
その他	4	5.6



**(その他)**

- ・ どの様な方法が最適の情報発信手段なのか模索中。
- ・ 情報過多で効果の面がそれほど期待できない。
- ・ 高齢化率が高い地域などで、ブログなどの発信をどのように生かしていくか。

**(8) Q8 自由意見(抜粋)**

- ・ 女性のための福祉団体だが、年々人数が減少するも新加入に結びつかず、苦慮している。団体に合う情報発信の方法を考えているが、SNS、ホームページまでは考えていない。
- ・ 情報発信するための知識、人材、財源について、市からの支援補助などがあれば助かる。活動に市の建物を使用する際に無料で使用できるように検討してほしい。
- ・ 補助申請が面倒。
- ・ 「チラシは1,000枚配って、参加者は1~2名というのが現実」というのを聞いたことがある。印刷費用がかかり、あまり作れないので、市の支援が受けられるとよい。
- ・ 印刷代がかさみ、予算が足りない。
- ・ 活動を行うための準備期間として現在取り組んでいる。情報発信に関する課題は財源不足とはいえ、方法を考えて発信していく。



・当団体は自治会長会議にて情報を発信しており必要事項の伝達には困っていない。但し、自治会員の減少及び加入率の低下により、まちづくり全体として見ると地域住民全体への情報発信にはなっていない。

・ヒガンバナを道路添に植え、きれいに咲きましたが、一ヶ所心ない人により、花が何かによって切られ、50本位が落ちていた。監視カメラもなく、地元の大学生達が一生懸命植えた苗が、このようにされることは寂しい。看板を立てて注意を促しているが、残念。

・スマホ、インターネット等機器を持たない人に情報が古く術を考慮して欲しい。福祉課・社協窓口に分かりやすいものを配架してほしい。人に見やすい形で配布して欲しい。窓口の障害（各種）に応じたサービス等を積極的に教えて欲しい。

・自治会の回覧などを更に活用したいが、まちづくりセンターの開設時間に何度も行くことができず、相談をしても対応をしていただけないことが多い。また、手続きが多く、気軽に利用できない。

・人と人とのつながりで情報が伝わっているのが現状。

・高齢社会の中で、地域共生社会の実現のために、これまでの友愛活動や健康づくり活動を充実するためにも、情報発信に積極的に取り組む事が必要であると考えている。

・まちづくり会議とは別に、テーマを決めて、関わりある団体や関心を持つ方々が集い、話し合う場が欲しい。自治会を中心に話し合うことも必要では。

・活動するサークルは、公民館ごとに掲載されているが、緑区または相模原市全区で一覧表として掲載して欲しい。緑区の市内全区のサークルが一目で分かり、サークル間の交流や情報交換が出来て、より活性化、技術の向上に繋がると思われる。

・活動に関して、担い手の育成が問題！！

・今後は紙での伝達でなく、インターネットやSNS等活用し、若い人にも手軽に見てもらい、発信型の情報提供にシフトしていかなければならないと感じている。

・情報発信により、イベント入場者が急増し、対応が間に合わない事態が発生している。

・当保存会は任期により会長が交替し、特に事務局もないので会長宅を事務局住所・連絡先にする場合も多々ある。HPを作っても更新する手も足りないので、SNS発信が良いのでは、という考えも有り現在検討中。緑区役所内の伝統芸能発信的なHPがあれば、そこに載ると連絡先を固定できない団体としては大変有難い。

**情報発信に係る財源、知識、人材が不足している。情報を集約し、発信できる場所があればよい。**